

一般社団法人 全国ホームホスピス協会 社員総会

2021年11月29日(月) 午後5時30分～
於：オンライン・協会事務局



決議事項

第1号議案 第7期(2020年10月1日～2021年9月30日期)

事業報告書承認の件

第2号議案 第7期(2020年10月1日～2021年9月30日期)

決算報告書承認および監査報告の件

報告事項

1. 第8期(2021年10月1日～2022年9月30日期)事業計画及び予算

1. まとめ

◎研修会や会議、レビューなどが、WEB開催となりました。

第7期は、災害ともいえるコロナ禍の中での活動でした。協会での大きな柱であるスキルアップのための全国研修会や、実践者育成塾はこれまでのように集っての開催を中止せざるをえず、WEB開催として実施いたしました。

ホームホスピス全国研修会は、福岡開催の予定で準備を進めていましたが、コロナ感染の拡大により、対談を動画で録画して配信しました。これまでにない手法でしたが、対面での開催ができなけれど、何とか参加される方に臨場感を感じてもらいたいという工夫からでした。動画制作をプロに依頼し、東京で録画収録しました。対談では、伊是名夏子さんの障害を越えて活躍しておられる姿勢を喜多悦子さんが引き出してくださいました。

同じくホームホスピス実践者育成塾のプログラムの中でも、講義では得られない実技などを盛り込むために、体にやさしい古武術介護や排便のケアは、事前に動画録画して配信するスタイルで行い、実際に会場をセットして実技を録画して配信しました。また、ワークショップは、いかにしてオンラインで参加者の交流を図れるかを奥村玄氏と何度もZOOM会議で打ち合わせし、どこにもないオンラインミーティングの手法を作り出せたと思います。

実践塾をオンラインにしたことで、遠方のために複数参加が困難だった団体も、参加できたこと、各ホームホスピスがスタッフの新人研修としてチームで受講できたことは、大きな利点としての収穫でした。今後はこの利点も活かしながら、研修会の方法を探っていきたいと思います。

実際に現地に足を運んでその場の空気や住人の表情などに接して行うレビュー（認定審査）も、オンラインとなりました。どうしても現地調査が必要と判断した場合は、調査を次期に繰り越しました。

このように、県外をまたぐ移動が制限される中で、多くの活動が実施できなくなりましたが、その中で様々な工夫がうまれました。オンラインのホストとしての事務局の仕事は、研修や会議の要となります。試行錯誤しながら工夫を重ねて、重要な役割を果たすことができました。

◎日本財団ホームホスピスリーダー養成プログラムが2020年3月に終了しました。

これまでにリーダー養成プログラムを修了した人は43名で、現在ホームホスピスを運営している人が22名、ホームホスピスの開設に向けて準備中の方が9名、様々な理由で断念した方や立ち上げたが後に辞めてしまった方が12名となっています。

2020年度の研修生は、松井美嘉子さん（新潟市）、小牧実千代さん（寝屋川市）、井上真由美さん（大阪府）で、最終の研修生となりました。また、今年度に新たに開設されたホームホスピスは2軒、2軒目を開設した団体は4軒、4軒目を開設した団体が1軒となっています。この様にこのプログラムによってホームホスピスが全国に広がる大きな起爆剤となりました。

また、このプログラムの実習を受け入れる実践団体は、研修費や人件費の費用助成があり、運営面でも、ケアを提供する面での技術向上にも大いに役立ちました。実習生にとっては、6カ月間という期間を、退職して臨むというハードルがあり大きな覚悟が必要でした。しかし、開設し実際に運営していく過程で、このハードルを越えたことがエネルギーの源になっていたことは確かです。

また、今後ホームホスピスをつくりたいと願い、どうすればいいのかという問い合わせが協会には寄せられていました。これらのニーズに対して協会としても考えていくことが求められ、そこで、「ホームホスピスの学校」を開講する企画を立てました。授業はオンラインで行うこと、講師陣は主に理事で担当することという研修形態をつくり、概要をまとめて発表したのが3月です。そして、6月には開校式を行うことができました。この「ホームホスピスの学校」を、協会の活動の大きな柱として継続事業に成長させて、全国に、特にホームホスピスの種が芽を出していない県に、ホームホスピスが誕生することを願っています。

◎「ホームホスピスの学校」を開講しました。

「つくる」コースと「まなぶ」コースを設定しました。「つくる」コースは、ホームホスピスの理念や哲学を座学①で学び、その後、面接を経て実際の運営や管理についての座学②に進むという2段階方式です。すべてオンラインで学べるので、仲間と一緒に受講される方々もおられます。理念を共有する仲間がいることは、開設にあたっての大きな力となります。また、仕事の都合などによりライブで受講できなくても、アーカイブで動画が配信されますので、それを受講しレポートを提出し評価を受けるといった研修形態となっています。自分の時間に合わせて、いつでもどこからでも学ぶことができるメリットは、今後も活かしていきたい手法です。

◎コロナ感染予防対策と、生活を守りぬくケアの実践は、緊張の日々でした。

コロナ感染が第4波、オリンピック開催終了後に第5波と、全国で再燃を繰り返しました。感染者の急激な増加で、病床逼迫して自宅待機の方々が医療を受けられずに亡くなるという悲惨な出来事も報告されました。特に東京や兵庫県内の神戸、尼崎、姫路、大阪府内、奈良県など関西地域のホームホスピスでは、緊張の日々でした。全国のホームホスピスでも、感染予防の対策や、家族の面会の対応、ワクチン接種など、住人の生活を守る為に日々格闘する日々が続きました。

コロナ禍の中で明らかになったことがあります。病院や施設が大規模であるがゆえに、いったん感染が起これるとあっという間に病院全体に拡大し、クラスターとして報道されました。介護現場では、職員の減少もあり、いったん感染が起これると正に介護崩壊せざるを得ない状況になります。介護現場でのクラスターの報道には敏感になりました。

ホームホスピスが小規模であることの意味を実感した年でもありました。換気、日光、清潔の環境整備は、まさに感染症対策の要です。小規模であるホームホスピスは、民家という空間そのものが感染症にとって良い環境にあると言えます。それでも、これまでに存在していないコロナウイルスであり、その発生のメカニズムは解明されていません。どんなに対策を講じていても、いつ、どのように感染するのか防ぎようのない状態になりました。全国のホームホスピスでは住人2名の感染が発生したところが1軒、スタッフ1名の陽性が発生した3軒からの報告を受けました。

◎WITHコロナへ

今後コロナ禍から解放されるには時間が必要です。全く元の状態に戻るというより、感染症と付き合っていく時代になるでしょう。20年後の超高齢化社会は、多死社会のピークだと言われて、今後、死亡者数は120万人から2040年には167万人に増加すると言われていますが、160万人死亡に対応する病床を新たに整備することはできないでしょう。高齢者の「住まい」での看取りを整備し充実するしかないと考えます。そこにホームホスピスの役割が益々重要になってくると思われれます。

① 評価及び認定

◎レビュー(認定審査)の実施

- ・ホームホスピスカぞくのいえ
期日：2020年10月28日 内容：初回レビュー（認定） 場所：福島県福島市
- ・ホームホスピス結びの家くるみ
期日：2020年11月5日 内容：初回レビュー 場所：福島県福島市
- ・ホームホスピス里の家
期日：2021年3月25日 内容：初回レビュー（認定） 場所：東京都中野区

*評価審査委員：高橋紘士、市原美穂、松本京子、竹熊千晶、金居久美子、岡本峰子、山口健太郎

② 研修会の実施

◎全国合同研修会の開催

第9回ホームホスピス全国合同研修会

2020年12月6日(日) オンライン開催
テーマ「困難な時代を生きる」

【内容】

- ホームホスピスってこんなところ 市原美穂
- ホームホスピスの日常
- ホームホスピスの仲間になりませんか
- ランチギャザリング (40名)
- 教育講演 「2040年を生きる」 長谷川敏彦氏 (未来医療研究機構代表理事)
- 対談 「困難な時代を生きる」
喜多悦子 (笹川保健財団会長) 伊是名夏子 (コラムニスト) 【内 容】



参加人数 102名 (HI 関係者 49 一般 53) 名

【参加者感想】

- ・私は直接ホームホスピスで働いてはおりませんが、今回の研修で社会システムや将来の日本について考えることが多くあり、私自身の仕事や生活にも関連する内容が盛りだくさんでした。
- ・日本財団の支援によるホームホスピスの研修が終了と聞き、どうしよう…と困惑していましたが、私にも受講可能な「ホームホスピスの学校」が開校されると聞き、とても嬉しく思います。来年の春から、ぜひ実践者育成コースに参加したいと思っています。そして、ホームホスピスの一員となって、喜多先生のお言葉にあったホームホスピスのムーブメントをわが地域で起こしていきたいと思っています。
- ・ホームホスピスで働いている介護職スタッフさんへのインタビューで、皆さんの率直な気持ちが伝わってきてとても良かったです。勤務年数によっても感じ方が違うことが良くわかり、非常に興味深かったです。

・実践者・運営者の方と直接お話しすることができたのが非常によかったです。もっと直接相談する時間があつたらなおよかったと思いましたが、非常に前向きな気持ちになりました。



対談事前収録



配信の様子



ランチギャザリング

◎各支部活動

(1) 研修会（内部向け研修を実施）

12月14日 九州支部研修会 10団体

「暮らしを整えるケア」 松本京子

「ホームホスピス運営のポイント」 黒岩雄二

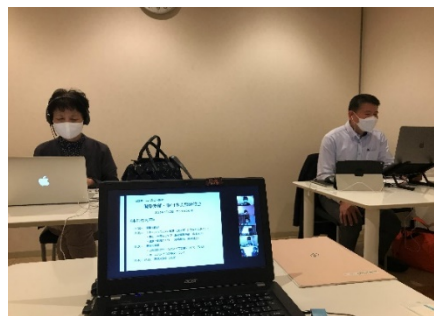
3月17日 関東・東日本支部研修会 13団体

「暮らしを整えるケア」 松本京子

「ホームホスピス運営のポイント」 黒岩雄二



九州支部：熊本会場（ハイブリッド）



関東・東日本支部（オンライン）

◎ホームホスピス実践者育成塾

2021年9月10～12日 オンライン開催

参加者：ホームホスピス関係者、ホームホスピスの学校受講生、一般

アーカイブ視聴にてホームホスピス内部研修にも活用

9月10日（金） 日本財団の目指すもの

吉倉和宏氏

組織運営 ガバナンスとコンプライアンス

山田泰久氏

ホームホスピスの組織運営

黒岩雄二

- | | | |
|----------|--|-----------------------------|
| 9月11日(土) | 患者中心の医療・介護とは何か？
ホームホスピスいせあこやの食事
ボケてもいいよ | 森田洋之 氏
藤田慶子 氏
村瀬孝生 氏 |
| 9月12日(日) | 体にやさしい古武術介護
排便のケア
ワークショップ
「あなたのアイデアがみんなの役に立つ」 | 岡田慎一郎 氏
榊原千秋 氏
奥村 玄 氏 |

当日視聴人数：100名



古武術介護
(事前収録)

③ 人材育成

◎日本財団ホームホスピスリーダー養成プログラムの研修実施(2020年3月終了)

2020年度

- ・松井美嘉子 (新潟県新潟市) ・ ・ かあさんの家
- ・小牧実千代 (大阪府寝屋川市) ・ ・ われもこう
- ・井上真由美 (大阪府豊中市) ・ ・ 愛逢



修了式

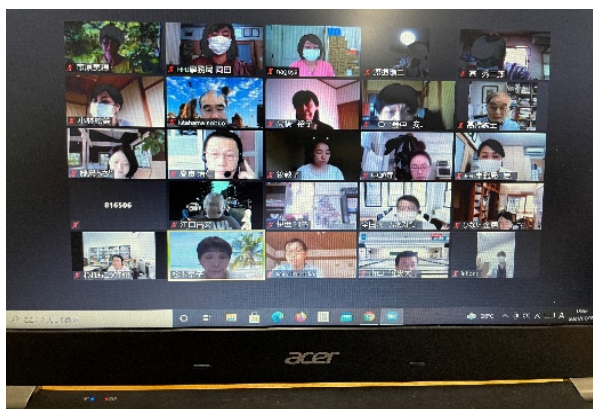
合計 3名

◎ホームホスピスの学校

ホームホスピスを始めたい人、またホームホスピスのことを学びたい人の為に、2つのコースを用意しました。「つくる」コースは、ホームホスピスの理念やケアの哲学および運営や管理についての座学と1カ月程度の現場実習で構成されます。また「まなぶ」コースは、理念や運営などの座学は「つくる」コースを共有し、現場実習を数日間としました。

1期生 「つくるコース」8組14名 「まなぶコース」11名

- 6月8日説明会
- 6月12日開校式
- 6月12日～7月3日 座学①・オンラインミーティング
- 7月6日、7日 つくるコース オンライン面接
- 7月13日～8月3日 つくるコース 座学②
- 9月～ つくるコース 実習・事務研修



第1期生のみなさん



オンライン講義

④ 開設及び拠点整備

◎開設前現地指導

メール、電話、オンラインによる相談を実施

《日本財団ホームホスピスリーダー養成研修修了生》

- ・松尾春花（東京都）開設
- ・鎌瀬友理（熊本県）開設
- ・白谷美和（福岡県）改築設計相談
- ・小牧実千代（大阪府）団体設立、改築設計、助成金申請相談
- ・ややの家（石川県）改築設計、助成金申請相談
- ・井上真由美（大阪府）団体設立相談
- ・片岡奈津子（岡山県）改築設計、助成金申請相談
- ・半澤博恵（北海道）団体設立のための広報活動相談
- ・山下初江（鹿児島県）団体設立、物件選び相談
- ・松井美嘉子（新潟県）物件相談

《ホームホスピスの学校 第1期生》

- ・倉岡美奈（大阪府）団体設立相談
- ・伊世利子（三重県）物件相談視察

◎拠点整備前視察・相談

- ・われもこう（熊本県）
- ・紀州やわらぎの家（和歌山県）
- ・ホームピアむつみあい（東京都）

◎新規開設

- 2021年5月「ホームホスピスクららの家」2軒目（秋田県秋田市）
- 2021年8月「ホームホスピスセ・ラ・ヴィ！」新規（東京都文京区）
- 2021年8月「紀州やわらぎの家」2軒目（和歌山県和歌山市）
- 2021年9月「ホームホスピスmiraie」新規（熊本県熊本市）
- 2021年9月「ホームホスピスは一との家」2軒目（東京都葛飾区）
- 2021年 「われもこう」1軒移転（熊本県熊本市）

⑤ 運営にかかわる相談・基盤づくり

◎相談支援・ヒアリング

《視察》

- ・徳島とも暮らしの家ふくい（徳島県）
- ・大原やすらぎの家（徳島県）

《相談》

内容：新規開設、助成金申請、広報、新型コロナウイルス感染予防対策など

- ・宝塚つ・む・ぐの家（兵庫県）
- ・愛逢（兵庫県）
- ・樺（東京都）
- ・フローラファミリー（千葉県）
- ・栃木かあさんの家（栃木県）
- ・もくれんの家（鹿児島県）



緊急事態宣言により、電話・メールによる相談支援多数

◎ 実践者スキルアップ研修

ケアを担っているスタッフが希望する他のホームホスピス（現在は下記の5カ所が受入機関）において2日～2週間程度、働きながら学ぶものです。受入機関は、

ホームホスピス宮崎かあさんの家 ホームホスピス神戸なごみの家、ホームホスピス愛逢の家
ホームホスピスたんがくの家、ホームホスピスわれもこう、ホームホスピスひなたの家の6か所と
なっていますが、これも上記の理由と同じく研修実施不可能となりました。

◎代表者会議

各ホームホスピスの現状報告

12月14日 九州支部 10団体

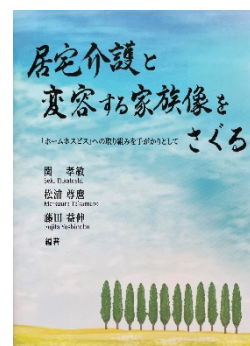
3月17日 関東・東日本支部 13団西日本支部研修会に合わせて意見交換を実施

◎緊急支援

第6期にいただいた、メットライフ生命・財団様からの緊急支援金のうち、監査のために使用する費用（主に旅費）が、新型コロナウイルス蔓延に伴う緊急事態宣言により使えなくなったため、その予算でケアグローブや防護服を各ホームホスピスに追加支援した。

⑥ 調査研究と普及

- ・ホームホスピスについての新聞掲載記事等の収集、管理
- ・「居宅介護と変容する家族像をさぐる」北海道大学出版会
執筆：市原美穂・高橋紘士・金居久美子・山口健太郎・竹熊千晶



⑦ インフォメーション

◎定時社員総会

日時：2020年11月27日（金）18：00～19：00

於：WEB

決議事項：

第1号議案 第6期(2019年10月1日～2020年9月30日)

事業報告書承認の件

第2号議案 第6期(2019年10月1日～2020年9月30日)

第3号議案 理事退任の件

決算報告書承認および監査報告の件

報告事項：第7期(2020年10月1日～2021年9月30日)事業計画及び予算

◎理事会の開催

第1回理事会 2020年11月14日 場所：東京都・オンライン

- ・レビュー報告
- ・メットライフ生命支援・CSR ボランティア活動
- ・新規開設
- ・第6期事業報告(案)・決算(案)
- ・第7期事業（全国合同研修会・支部研修会・育成塾・ホームホスピスの学校）
- ・第8期事業（全国合同研修会）
- ・ホームホスピスへのアンケート
- ・協会パンフレット作成

第2回理事会 2021年3月1日 場所：オンライン

- ・ホームホスピスの学校
- ・レビュー

第3回理事会 2021年4月16日 場所：オンライン

- ・ホームホスピスの学校
- ・第4回ホームホスピス実践者育成塾
- ・第10回ホームホスピス全国合同研修会
- ・認定の更新

第4回理事会 2021年6月3日 場所：オンライン

- ・ホームホスピスの学校
- ・開設予定
- ・第4回ホームホスピス実践者育成塾
- ・第10回ホームホスピス全国合同研修会
- ・JAMSNET SWISS

第5回理事会 2021年7月8日 場所：オンライン

- ・日本財団「もうひとつの家プロジェクト」
- ・ホームホスピスの学校

第6回理事会 2021年8月10日 場所：オンライン

- ・ホームホスピスの学校
- ・第4回ホームホスピス実践者育成塾
- ・第10回ホームホスピス全国合同研修会

第7回理事会 2021年9月16日 場所：オンライン

- ・第8期事業計画、予算
- ・第10回ホームホスピス全国合同研修会
- ・ホームホスピスの学校 第2期
- ・レビュー

◎事務局体制

事務局長：黒岩雄二、事務局：岡田瑞穂、岩切知峰

理事会記録：古野たづ子

・事務局が本格的に動き始めてから5年目になります。協会の活動と共に、業務も増えてきました。会員の管理、理事会の運営、相談対応、情報発信、研修の企画などの運営に関わる業務の他、レビューの調整、日本財団への助成金申請の補助等多岐にわたっています。

・特にコロナ感染の拡大に伴い、会議や研修などが開催できなくなり、ほとんどがWEBでの開催となりました。勢いZOOMなどを使っての実施となりますが、そのホストとしての機能は事務局になります。他の業務に加えてですから、多忙を極めました。

広報には、FacebookやInstagram、TwitterなどのSNSを駆使して行い、力量を存分に発揮しました。

【受講研修】

- ・FRJ2021 第12回ファンレイジング・日本（2021年3月）

◎広報活動

- ・ニューズレターたんぽぽ6号の発行
- ・ホームホスピス協会パンフレット制作、配布
- ・ホームページ（担当：黒岩雄二・岩切知峰）
- ・Facebook（担当：岡本峰子・黒岩雄二）
- ・Instagram(担当：岡田瑞穂)
- ・Twitter(担当：岡田瑞穂)



☆災害復興支援特別基金

◎新型コロナウイルス感染防護対策支援

メットライフ財団より日本財団を通じて、新型コロナウイルス感染拡大防止のための支援金をいただいた。

期間 2020年6月～2021年3月

対象 全国ホームホスピス協会 団体正会員ホームホスピス 58軒

内容

- (1) 必要物品(ガウン、手袋、マスク、消毒液、次亜塩素酸水生成器など)の購入
- (2) 感染対策強化(人員補充等)の実施・1軒あたり50万円(人件費、物品購入費)
- (3) 緊急追加支援 2021年1月 42団体(使い捨てグローブ、ガウン)
- (4) ホームホスピスへのヒアリングの実施

訪問：むつみあい(東京都)

オンライン：ほのぼの(福岡県)、てんき(東京都)、みよしの家(愛知県)

フローラファミリー(千葉県)、もりのいえ(青森県)

- (5) 協会事務局環境整備

空気清浄機能付きエアコン、検温・アルコール噴霧器、支援物資一時保管用倉庫

◎メットライフ生命 CSR 活動

2020年10月 雑巾、足ふきマット寄付



収入の部	第7期予算額	第7期決算額	
助成金収入	24,550,000	17,063,000	日本財団助成金(2021年10月～2022年3月分)含む。 R2年度助成金返還7,487,000円
会費収入	2,990,000	2,205,000	正団32 正個5 準団3 賛29
レビュー審査収入	800,000	300,000	10万*3カ所
研修参加費収入	2,000,000	800,000	全国633,090円、育成166,910円
ホームホスピスの学校受講料収入	900,000	1,631,000	まなぶコース11名、つくるコース8組
寄付収入	10,000	0	
雑収入		196	受取利息
前年度繰越金	34,405,790	34,405,790	繰越金には日本財団助成金(2020年10月～2021年3月分)を含む
計	65,655,790	56,404,986	

支出の部		第7期予算額	第7期決算額		
事業費	評価及び認定	レビュー	1,300,000	87,450	旅費・レビュー審査日当
	研修会の実施	年次大会	2,000,000	1,093,029	12/6 オンライン、会場費、謝金、動画作成費
		支部活動費	2,000,000	94,794	九州支部・東日本/関東支部(オンライン)
		育成塾	2,500,000	1,042,891	9/12～13 オンライン開催、謝金、会場費
	人材育成	ホームホスピスの学校	3,500,000	545,577	講師謝金、日当、チラシ制作
	開設及び拠点整備		500,000	132,234	熊本 miraie、セ・ラ・ヴィ、はーとの家
	相談・運営にかかわる 基盤づくり	相談支援・ヒアリング	1,000,000	35,288	運営相談視察(日南子、もくれん)
		代表者会議	1,120,000	0	会議運営・旅費 28万×4支部
		親睦者スキルアップ研修	315,000	0	4.5万×7
		緊急支援	600,000	0	
	感染防護対策支援			696,594	会員コロナ支援(ケアグローブ、防護服、送料)
	調査研究と普及	250,000	59,485	資料データ化スキャナー	
	事業費総額		15,085,000	3,787,342	
管理費	人件費	6,500,000	8,033,901	事務局給与2名・パート1名(社保含む)・理事会記録雑給	
	家賃	840,000	840,000	事務局家賃・電話使用料	
	事務用品費	50,000	17,600	事務用ソフトウェア	
	消耗品費	30,000	50,015	コピー用紙・文具	
	会議費	100,000	354,317	理事会会場使用料	
	旅費・交通費	1,800,000	155,076	理事会・事務局	
	通信・運搬費	217,000	227,143	切手・レターパック・宅急便・携帯電話	
	業務委託費	0	0	7期予算では雑費へ	
	広報費	580,000	179,474	ホームページ更新・名刺 ホームホスピスの周知啓発(パンフレット)	
	租税公課	84,000	32,000	収入印紙・地方税	
	書籍仕入れ	0	0		
	備品	0	117,480	携帯電話	
	雑費	400,000	334,965	交際費、支払手数料、新聞図書、業務委託等	
	減価償却費	500,000	176,000	倉庫、パソコン	
予備費	39,469,790	42,099,673	日本財団助成金(2021年10月～2022年3月分)含む		
管理費総額		50,570,790	52,617,644		
計		65,655,790	56,404,986		

監査報告書

一般社団法人全国ホームホスピス協会
代表理事 市原美穂 様

1. 監査実施年月日：2021年11月19日
2. 監査に供した書類：事業報告書ならびに財務諸表・帳簿・証拠書類等

監査は、一般社団法人全国ホームホスピス協会定款第38条に基づき、第7期（2020年10月1日～2021年9月30日）の業務監査及び会計監査を行った。理事の業務執行の状況に関しては、必要に応じ第6期の理事会に出席して確認し、本日事業報告書の内容を確認した。会計については、財務諸表（活動計算書・貸借対照表・注記・財産目録）・帳簿・証拠書類等を閲覧して照合し、質問等により詳細を確認した。

その結果、理事の業務執行状況については、定款及び事業計画に基づき適正に執行され、収支報告及び各帳簿は間違いなく適正に執行処理されていること認めためたので報告します。

2021年11月19日

監事 岡本峰子  印

報告事項

第8期事業計画書

(2021年10月1日から2022年9月30日まで)

1. 事業活動方針

一般社団法人全国ホームホスピス協会として事業を開始して今期は6年の節目を迎えます。その間、ホームホスピスを運営する仲間が緩やかな連携を持ちつつ、理念の共有とケアの質の確保・向上に資するように、様々な研修の機会を作ってきました。今期は、これまでの研修やレビューなどの事業内容について見直ししながらブラッシュアップを図ってまいります。

①全国のホームホスピスの実態を把握するために、見学視察及びWEBを使つてのヒアリングを行い、それぞれの課題に対して相談支援を充実させていきます。

②開設2年以上経過している団体にレビューの機会を作り、一緒に考えアドバイスする体制を作ります。

③ホームホスピスを立ち上げたい方や理念を学びたい人のために「ホームホスピスの学校」を開校します。

研修内容をそれぞれの研修団体の指導者と共有し、お互いに研鑽の機会を作ります。また、新規に立ち上げるホームホスピスの開設支援や相談支援、また日本財団ホームホスピス整備プログラムの申請に際して協会の推薦が必要となる等、それぞれ会員の実態に応じたサポートをしていきます。

2. 事業の実施に関する事項 (次期はこのような項目を重点的に実施します。)

目的	事業名	事業内容	
① 評価及び認定に沿って	レビュー (評価)	開設2年以上の団体正会員	
	認定審査会	レビュー評価をもとに審査 今後の取り組みについての助言、支援	
② 研修会の実施	全国合同研修会	「つながりを編み出す～地域共生社会を考える～」 2021年11月20, 21日開催	宮崎県 オンライン
	ホームホスピス 実践者育成塾	・運営や組織、NPOとファンドレイジング (助成金や公的文書作成) や、マネジメント ・臨床倫理、ケアの哲学、悲嘆を学ぶ ・ケアの実践演習 ・ワークショップ	3日間
	支部研修会	西日本支部 (近畿中部を広げて四国、広島を含む) 九州支部、東日本支部、関東支部	

目的	事業名	事業内容	2021年10月1日～2022年9月30日
③ 人材育成	ホームホスピスの学校 ～単位制～	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン講義と現場実習・事務研修・育成塾を組み合わせたプログラム ・ホームホスピスを立ち上げたい人、理念(ホームホスピスマインド)を学び、ケアに活かしたい人を対象 <p>【講義】(オンライン研修)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームホスピスの基準に沿ったケアの実践と運営 <p>【実習】(認定ホームホスピスでの実習・ 団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームホスピスの基準に沿ったケアの実践 <p>【事務研修】(協会事務局にて講義・演習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織や運営について ・開設相談に乗りながら、立ち上げまでをサポート 	3期5月 4期8月
④ 開設支援及び 拠点整備	開設と拠点整備	<ul style="list-style-type: none"> ・建物、組織、地域、運営、助成金申請アドバイス ・現地視察 ・法人設立支援 ・物件環境確認 ・開設記念事業への協力 	
り 相談及 ⑤ 運営にか 及び基 盤づく る	相談支援 現状把握のためのヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> ・運営や事務、経理等のアドバイス ・地域との関係づくり 	
	実践者スキルアップ研修	ケアを担っているスタッフのスキルアップを図る為に、他のホームホスピスや協会事務局で学ぶ	
	緊急支援	<ul style="list-style-type: none"> ・現地視察 ・災害支援 	
と 査 ⑥ 普及 研究 の 調 査	講師派遣	<ul style="list-style-type: none"> ・他団体主催事業での講演 	
	研究論文・記事等の とりまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・各種調査及びデータ収集 ・論文等の保管 ・「ホームホスピスの基準」「パンフレット」英訳 	
⑦ 組織運営 (事務局)	社員総会の開催 理事会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・業務執行の決定と監督 ・議事録の作成 	
	会員管理	<ul style="list-style-type: none"> ・入会にあたっての理事会の承認 ・会費の確認 ・賛助会員の呼びかけ 	
	商標登録運営管理	<ul style="list-style-type: none"> ・認定証の発行 ・無断で使用できないことを告知 	
	広報	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの充実 ・協会ニュースレター(たんぼぼ)の発行 ・協会パンフレット製作 	
	経理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・会費、助成金の管理 	

第 8 期予算

2021年10月1日～2022年9月30日

収入の部	第 7 期予算額	第 7 期決算(案)	第 8 期予算	
助成金収入	24,550,000	17,063,000	22,320,000	日本財団助成金 (2022年10月～2023年3月分) 含む 2020助成金返還 7,487,000円
会費収入	2,990,000	2,205,000	3,220,000	正団 45 正個 7 準団 10 賛助 30
レビュー審査収入	800,000	300,000	300,000	10万*3カ所
研修参加費収入	2,000,000	800,000	1,000,000	全国、育成
ホームホスピスの学校 受講料収入	900,000	1,631,000	2,800,000	つくる18万*7名、まなぶ2万*7名 (3, 4期)
寄付収入	10,000	0		
雑収入		196		
前年度繰越金	34,405,790	34,405,790	42,099,673	
計	65,655,790	56,404,986	71,739,673	

支出の部		第 7 期予算額	第 7 期決算(案)	第 8 期予算	第 8 期案	
事業費	評価及び認定	1,300,000	87,450	1,300,000	旅費・レビュー審査日当	
	研修会の 実施	年次大会	2,000,000	1,093,029	2,300,000	11/20,21 宮崎・オンライン
		支部活動費	2,000,000	94,794	1,400,000	30万×4支部 九州支部・西日本支部・東日本支部・関東支部
		育成塾	2,500,000	1,042,891	1,250,000	3日間研修
	人材育成	ホームホスピスの学校	3,500,000	545,577	900,000	150万×2回 講師・実習受け入れ団体謝金、旅費、現場実習団体指導者会議、チラシ制作
	開設及び拠点整備	500,000	132,234	1,200,000	開設前相談・視察 6万×2名×10カ所	
	運営にかかわる 相談・基盤づくり	相談支援・ヒアリング	1,000,000	35,288	600,000	運営相談視察 6万×2名×5カ所
		代表者会議	1,120,000	0	560,000	会議運営・旅費 28万×2支部
		実践者スキルアップ研修	315,000	0	135,000	4.5万×3名
		緊急支援	600,000	696,594	450,000	災害時支援 (人材派遣旅費、送料等)
	調査研究と普及	250,000	59,485	500,000	データ収集・実態調査 ホームホスピスの基準、パンフ英訳	
	事業費総額		15,085,000	3,787,342	10,595,000	
管理費	人件費	6,500,000	5,393,901	6,000,000	事務局給与1名・パート1名(社保含む) 理事会記録雑給	
	家賃	840,000	840,000	840,000	事務局家賃・電話使用料	
	事務用品費	50,000	17,600	50,000	事務用ソフトウェア	
	消耗品費	30,000	50,015	30,000	コピー用紙・文具	
	会議費	100,000	354,317	100,000	理事会会場使用料	
	旅費・交通費	1,800,000	155,076	1,800,000	理事会・事務局	
	通信・運搬費	217,000	227,143	200,000	切手・レターパック・宅急便・携帯電話	
	業務委託費	0	2,640,000	2,640,000	HHM 事務委託	
	広報費	580,000	179,474	500,000	ホームページ更新・名刺 ホームホスピスの周知啓発(パンフレット)	
	租税公課	84,000	32,000	84,000	収入印紙・地方税	
	備品		117,480			
	雑費	400,000	334,965	600,000	交際費、支払手数料、業務委託等	
	減価償却費	500,000	176,000	140,000	倉庫、パソコン、撮影機材等	
予備費	39,469,790	42,099,673	48,160,673	日本財団助成金 (2021年10月～2022年3月分) 含む		
管理費総額		50,570,790	52,617,644	61,144,673		
計		65,655,790	56,404,986	71,739,673		

第8期役員

役 職 名		氏 名
理 事 会	理事長	市原 美穂
	副理事長	松本 京子
	理 事	竹熊 千晶
	理 事	高橋 紘士
	理 事	金居 久美子
	理 事	山口 健太郎
	監 事	岡本 峰子